



2022年6月14日  
日本コンサルタンツ株式会社

## 「インド高速鉄道施工段階の土木設計に関するアドバイザー業務」 の受注・契約について

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中井雅彦）は、日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋浩明）、株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二）とともに、インド高速鉄道公社（National High Speed Rail Corporation Limited）より、「インド高速鉄道施工段階の土木設計に関するアドバイザー業務（Design Related Advisory Services for the Construction Stage of Mumbai-Ahmedabad High Speed Rail (MAHSR) Project）」を共同で受注し、2022年6月3日に同社と契約を締結しました。

本件は、インド高速鉄道公社（以下「NHSRCL」）より、日本コンサルタンツ株式会社、日本工営株式会社、及び株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバルからなる3社の共同企業体（Japan International Consultants Consortium、以下「JICC」）が、ムンバイ・アーメダバード間の高速鉄道にかかる施工段階の土木設計に関するアドバイザー業務を受注したものです。

ムンバイ・アーメダバード間の高速鉄道（以下「本事業」）については、2016年12月9日に、独立行政法人国際協力機構（JICA）からインド国高速鉄道建設事業詳細設計調査【有償勘定技術支援】を受注し、以来、JICCで高速鉄道に用いられる設計や事業の入札で使用される入札図書の作成、入札支援を行って参りました。2020年12月から、グジャラート州の土木パッケージが順次工事開始となっています。

NHSRCLは、これら工事開始となった土木パッケージの施工監理業務をインドの現地コンサルタントと契約しましたが、施工段階において生じた設計に関する疑問や現地の状況に応じた設計の変更等に対して、現地コンサルタントでは十分な対応が出来ないため、日本側に対応を要請していました。

詳細設計調査業務を行った JICC は、本事業に協力する観点でもそれらの要請に応えることとし、施工段階における設計に関する疑問への回答やインド側で実施する修正設計や新規設計の確認等をアドバイザー契約として実施することで今回、本契約を締結いたしました。なお、本業務には本事業の円借款資金が充当される予定です。

## 2022年6月3日：契約締結のオンライン調印式の様子



(写真左：左側から順に「日本工営株式会社」「日本コンサルタンツ株式会社」「株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル」の代表者)

(写真右：インド高速鉄道公社)



調印式後 JICC メンバーで記念撮影

出典：インド高速鉄道公社 Facebook